



えごた

<http://nk-egota-eala.jp>

令和2年
3月修了式号
江古田小学校
児童数422名(卒業生66名)
TEL 03-3385-0411

学校の教育目標◎かんがえる子ども○やさしい子ども○たくましい子ども(◎重点目標)
目指す学校の姿「元気いっぱい、笑顔で挑戦、子ども一人ひとりがよさを発揮できる学校」



志をもって、あゆみ続ける！

校長 松井 貴子

校門の桜の花が、柔らかな春の日差しにつつまれ、開花のときを迎えました。

24日の卒業式、66名の6年生が卒業します。わずかな練習でしたが、緊張の中にとっても自信に満ちたよい顔をしています。決意表明では、未来への志や周りへの感謝の言葉を述べ、力強くはばたいていく姿に頼もしさを感じます。

2月の全校朝会では『易経』から龍の成長の話を2回に渡っていたしました。『易経』はおおよそ5000年前に中国で生まれた世界最古の書物といわれています。占いの書で、亀の甲羅や筮竹(さいちく)という棒を使った占いの結果を読み説くためのものとして使われており、知恵と教養を身に付ける帝王学の書として読み継がれてきました。これからますます皆さんがリーダーとして活躍する時代が到来します。温故知新、易経に限らず古い書物を紐解いて、考えてみるのもよいのではないのでしょうか。

さて、本年度の修了式は各教室で実施し、次のようなお話を放送します。

学校は学ぶところです。学ぶとは、自分と未来をよりよく変えることです。そして、学ぶことの最終目標は、人のために自分の力を役立てることです。「あゆみ」(成績)を拝見しました。自分の目標に粘り強く取り組んでいる様子、係活動や委員会活動、行事で人の役に立つことを頑張る姿が書かれていて大変感心しました。

「確乎不拔(かっこふばつ) 確乎としてそれ抜くべからざるは、潜龍なり。」

志をもって、何かをするときやり過ぎるくらい真剣に取り組む時期が必要です。あるとき技が身に付きやり方のコツがつかめます。小学生の皆さんは今、そのときです。

例えば、縄跳びの技を身に付けたい「二重跳び」ができるようになることを目標にしたとします。周りの人に宣言します。そして、できるまで工夫して取り組みます。この工夫の仕方が大切です。「どのようにしたらできるのだろうか」と考え、できる人の真似をしてやってみるとよいです。すぐに見てできる人もいるかもしれませんが、しかし、普通は直ぐにはできません。そこで、イメージして練習に励みます。このとき、自分以外の他の人には、動き全体が見えていますから、できているのか見てもらうとよいでしょう。アドバイスできる人に見てもらうと、イメージしやすいので上達する励みにもなります。できるようになるまで、やり続ける粘り強さは大切です。この学習の仕方を学校ではたくさん学ぶことができます。どんなことができるようになったのか、人から見える自分のよさはどんなところかをあゆみで確認し、心新たに挑戦していくエネルギーとしてください。

6年生の皆さん、卒業、おめでとうございます。

式辞でお話した繰り返しになりますが、4月の春休み明け、中学校へ学びの志をもって、「日々、挑戦!」「日々、感謝!」「日々、小さな親切」、一人ひとりが力を存分に発揮することを期待しています。卒業生の「輝かしい未来」と「生涯にわたっての健康と幸せ」を心からお祈りします。

保護者の皆様、お子様の御卒業、おめでとうございます。そして、これまでの本校の教育活動への御理解と御協力に心より感謝いたします。ありがとうございました。